

**製品名: CSGlcA-T ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09450**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	86kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHPF2 CHPF2; CHSY3; CSGLCAT; KIAA1402; Chondroitin sulfate glucuronyltransferase; CSGlcA-T;
別名	Chondroitin glucuronyltransferase; Chondroitin polymerizing factor 2; ChPF-2; Chondroitin synthase 3; ChSy-3; N-acetylgalactosaminyl-proteoglycan 3-beta-g
遺伝子 ID	54480.0
SwissProt ID	Q9P2E5
免疫原	抗血清はヒト CSGLCAT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

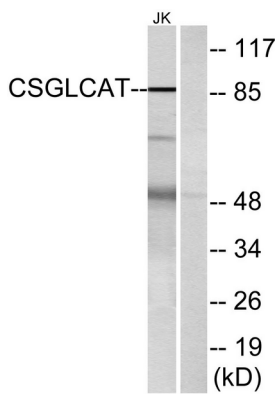
**背景**

CHPF2 (コンドロイチン重合因子2) はタンパク質コード遺伝子です。関連パスウェイとしては、B3GAT3の欠損によるJDSSDHDの発症、代謝などがあります。この遺伝子に関連するGOアノテーションには、トランスフェラーゼ活性、グリコシル基の転移、N-アセチルガラクトサミニルプロテオグリカン3-β-グルクロン酸転移酵素活性などがあります。この遺伝子の重要なパラログはB4GALNT4です。

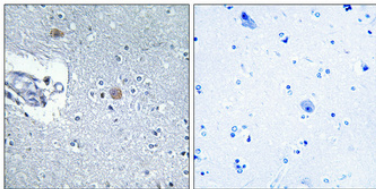
## 研究分野

コンドロイチン硫酸の生合成;

## 画像データ



CSGLCAT抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリスEDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。